

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

*科目 No.	2003
---------	------

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催方法	<input type="checkbox"/> 対面 ( )			
				<input checked="" type="checkbox"/> オンライン (同時・録画・資料提示)			
2. 科目名	正式科目名	平和と人権A ヒロシマと国際平和			クラス名	1・2年次	
	副題				配当年次		
	旧科目名				受入学年		
	学問分野	番号	42	名称	国際関係		
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群		
3. 担当教員名	広島平和研究所 教授 永井 均						
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期			
6. 開講期間 曜日・時間	2021年4月12日(月)～2021年7月26日(月) 月曜日 16:25～17:55						
個別開講日	1回目 4/12	2回目 4/19	3回目 4/26	4回目 5/10	5回目 5/17	6回目 5/24	
	7回目 5/31	8回目 6/7	9回目 6/14	10回目 6/21	11回目 6/28	12回目 7/5	
	13回目 7/12	14回目 7/19	15回目 7/26				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ( ) 2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 (総授業定員)	20人 (150人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考			
10. 科目内容・ 授業計画	<p>広島原爆体験を基礎から応用まで様々な視点と教材で学び、「ヒロシマ」という国際平和文化都市で暮らす意味を考える。</p> <p>〔講義内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>なぜ、広島と長崎だったのか？</li> <li>ヒロシマを世界に伝えた人々</li> <li>英語で広島を案内するヒント</li> <li>世界に関心を向け、貢献しよう</li> <li>コンピューターを駆使した原爆問題へのアプローチ</li> <li>原爆が人体と心にもたらしたもの</li> <li>原爆投下の法的問題</li> <li>ヒロシマは海外でどう見られているか？</li> <li>被爆地を支えたソウルフード</li> <li>アメリカのヒバクシャ</li> <li>広島平和記念資料館の仕事</li> <li>被爆の思いを七宝焼きに託して</li> <li>「原爆文学」を読む</li> <li>デザインやアートからヒロシマを見直す</li> <li>被爆の記憶を継承するために</li> </ol>						
11. 試験・評価方法	平常点と期末レポートで総合的に評価する						
12. 別途負担費用	なし						
13. その他特記事項	なし						
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生(単位付与)として受け入れ			可	否		
	聴講生(単位認定不要)として受け入れ			可	否		

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン(同時・録画・資料提示)へ変更になる場合があります。